

## 第13回青森県民駅伝競走大会レースの概要

第13回青森県民駅伝競走大会が9月4日(日)、青森市で行われ、県内全市町村の代表選手が郷土の誇りをかけて健脚を競った。

今回の大会は平成の大合併により66市町村から47市町村で行われた。開会式は、10時20分。スタート並びにコースは、昨年同様本県の産業振興の拠点である、いわば「青森県の顔」とも言うべき県観光物産館アスパムの玄関口をスタート地点とし、国道4号線使用の第1区コースを皮切りに、8区間(33.8キロ)にわたって実施した。

当日は、気温21度前後、湿度も69パーセント。中盤以降、雨も降り出したが弱い雨であったため、選手にとってはまずまずのコンディションであった。

スタート地点は、陸奥湾から流れる潮の香りが選手たちの心を和ませ、正午ちょうど大会長三村知事による号砲が鳴り響くと、巨大な正三角形の建築物を背に県下47市町村を代表する第1区走者が閃光を放つように飛び出した。

第1区〔アスパム前～合浦公園/高校生以上男子〕は、距離が短く直線でありスピードがより要求され、仕掛けどころが注目される区間である。

序盤は全選手が固まった状態であったが、その後、大鰐町の石郷倫史選手(陸上自衛隊青森)、むつ市の板垣陽介選手(海上自衛隊下北海洋観測所)、七戸町の工藤正也選手(青森山田高校3年)、中泊町の伊藤達哉選手(青森大学2年)らが先頭に立ってレースを引っ張る展開となった。

最後、接戦を制したのは大鰐町の石郷倫史選手であり、区間新記録も樹立した。

第2区〔合浦公園～野内/中学生男子〕は、1位と2位の差は12秒差。トップでタスキを受けたのは大鰐町の米田紳度選手(大鰐中学校2年)

次いで、むつ市の杉山光選手(田名部中学校3年)、野辺地町の田村優宝選手(野辺地中学校2年)が追う展開となったが、田村選手がすごい勢いで迫り、そのままトップに躍り出た。

そして、そのまま区間新記録を樹立し、チームを1位までに押し上げた。

第3区〔野内～諏訪沢／高校生以上男子〕では、トップでタスキをつないだ野辺地町だが、1.8 km付近で大鰐町の佐々木渉選手（青森山田高校2年）がトップになった。

また、むつ市の柳田剛選手（海上自衛隊大湊航空隊）も力走をみせ、野辺地町さらには大鰐町を抜きトップに踊り出た。

2位以下は大鰐町・青森市・東北町・三戸町の順。

また、この区間でむつ市の柳田選手は区間新記録を樹立した。

第4区〔諏訪沢～戸山団地／高校生以上男子〕は、むつ市の山本知也選手（むつ総合病院）が、トップでタスキを受けると、落ち着いた走りで次の中継所を目指した。

後を追う大鰐町の森山雄一朗選手（大鰐町役場）や東北町の藤ヶ崎知己選手（国土舘大学1年）もいい走りを見せたが一步及ばなかった。区間新記録もむつ市の山本知也選手が樹立した。

また、八戸市は竹井秀帆選手（八戸市庁）の力走で14位から4位まで順位を押し上げた。

第5区〔戸山団地～幸畑／中学生女子〕は、大会コースで一番短い2.5キロの区間であるが、トップに行くむつ市の山内香奈選手（函舘白百合学園中学校1年）が安定した走りで次の中継所を目指した。

2位東北町、3位大鰐町、4位八戸市、5位は青森市。青森市の佐藤真己選手（浪岡中学校3年）は、区間新記録。

また、10位につけていた七戸町の今雪音選手（天間舘中学校1年）もぐんぐんと追い上げ区間新記録を出し、6位に躍進した。

第6区〔幸畑～流通団地／高校生以上男子〕では、先頭から、むつ市、東北町、大鰐町、青森市。むつ市の舩木和寿選手（大平小学校）は余裕のレース運びでトップを維持。

また、5位でタスキをうけた青森市の對馬広将選手（青森市役所浪岡事務所）が順位を上げ3位につけた。

第7区〔流通団地～細越ノ中学生以上女子〕は、依然として、むつ市と東北町、青森市、その後ろを大鰐町、八戸市の順。

東北町の前野早紀選手（青森山田高校2年）がトップを追ういい走りを見せたが順位はそのままであった。

第8区〔細越～県総合運動公園陸上競技場ノ中学生男子〕では、むつ市がトップでタスキをつなぎ、最終ランナー山内翔平選手（函館ラ・サール中学校3年）が東北町を総合で1分08秒引き離してゴールし、5年連続4度目の総合優勝を手にした。

また、3位青森市、4位大鰐町。5位は八戸市の順であった。

#### 《市の部》

むつ市は、昨年ノ第1位ノ貫禄を見せ、1、2区でやや後退した以外は全てトップを保持して堂々の5連覇を成し遂げ、総合成績でも4連覇を達成した。

最後には、2位ノ青森市に約1分半ノ差を付けた。

3位は昨年に続き八戸市であった。

#### 《町の部》

東北町が5区で町の部トップに立って以降トップを譲ることなく、総合でも先頭ノむつ市を必死に追い続け、11年連続12度目ノ優勝を遂げた。

また、2位は大鰐町。七戸町・野辺地町が3位争いを繰り広げたが、最後は七戸町に軍配が上がった。

#### 《村の部》

六ヶ所村が最終区ノ序盤で福地村に抜かれたものの、最後は抜き返し、最終9秒ノ差で六ヶ所村が優勝を手にした。六ヶ所村は村ノ部で6年ぶり7度目ノ栄冠に輝いた。

3位は東通村であった。